

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながる常時途中・他者参照

一人1シート



子ども一人一人が考えを表現する



出席番号ごとに一人1シート

全員に表現の場を確保

一人一人に領域を与えることで、子どもみんなが安心して表現できる場を確保できた。紙を印刷せずとも、短時間で作成・提供ができるので、教員の負担が軽減された。

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながる常時途中・他者参照

参照し合える環境

子ども一人一人が考えを生み出せる

クラウド上

直接の対話



これまでの一斉授業のスタイルであると、やり方も進め方も分からずに何もできなかった児童が、常時参照し合える環境があることで、他の児童の考えを参考に学習を始める姿が見られた。また自分でどんどん進められる児童にとっても、他者の意見を参考にすることでさらに考えを深めることにつながった。教員としては瞬時に児童の作業状況を把握できることが利点である。

【取組内容④】 校務のGIGA化によるGoogle機能の普段使いの推進

- 朝の打ち合わせはストリーム→チャットへ
 - ・打ち合わせの回数が減少
- 情報共有をチャット
 - ・各学年、各グループでスペースを作成
- 提案をドキュメント
 - ・活動計画、職員会議、各記録、指導案検討など
- 編集をスプレッドシートで行う
 - ・月行事反省、各学年の意見集約など



Google機能の普段使い



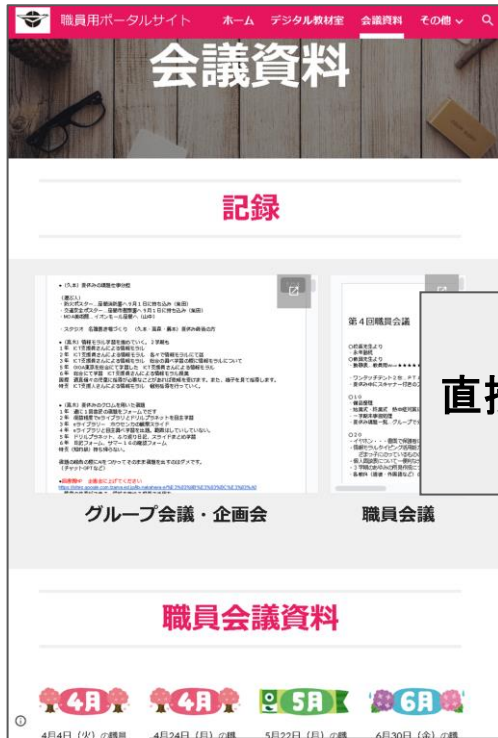
教員自身が便利さを実感



まずは、教員自身の普段使いを最優先とするため、これまでパソコンに保存されていた書類関係を少しずつGoogle機能主体（ドキュメントやスプレッドシート等）へとシフトチェンジしていった。教員自身が校務で使う必然性のある状況をつくり出すことで、自然と便利さを実感していく機会を得ることができた。

【取組内容④】 校務のGIGA化によるGoogle機能の普段使いの推進

職員用ポータルサイトによる普段使いの推進



直接アクセス



会議資料
特別教室の予約
教材の貸し出し
会議記録など

教員の使いやすさをサポートするために、校内職員用ポータルサイトを作成した。端末を使うことに苦手意識のある職員でも閲覧したい資料にアクセスしやすいようにして、端末使用に対する抵抗感を軽減させたことが校内での普段使いを加速させた。クラウド上で会議資料の閲覧、特別教室の予約等も行えるので、より便利さを実感しつつ、校務のGIGA化を進めていくことができた。

【取組内容④】 クラウドをフル活用した非同期からスタートする指導案検討会議

The screenshot shows a Kami workspace with a document on the left and a chat window on the right. The document is a lesson plan for a 6th-grade social studies class, titled '6/20校内研6年社会科指導案'. It includes sections for '学習過程' (Learning Process) and '展開' (Development). The chat window shows several messages from participants like 'ヤマグチマミ', 'タケウチマコト', and 'タカギコウタロウ', discussing the lesson plan and providing feedback.

事前にコメント

会議時間短縮

2	あ	生き物（魚、恐竜、虫）など興味のあることの語彙は豊富である。	・活動に参加する。
3	が	・集団に入ったり、話したりすることには抵抗がある。	・小集団の中で友だちを意識しながら、言葉を聞いたり、伝えたりしながら楽しむ。
3	が	・日常会話は問題ない。	・最後まで活動に参加する。
3	が	・集団を前にして話すことに抵抗がある。	・ゲームを楽しみながら語彙を増やす。
E	3	・大人とおしゃべりをするのが好き。	・小集団の中で友だちを意識しながら、言葉を聞いたり、伝えたりしながら楽しむ。
3	た	・会話は問題ない。音読や紙書を尋ねることが苦手で、できないとパニックを起こしてしまう。	・相手を意識したクイズの出し方を工夫する。

まずはドキュメントを全員に白紙共有。該当学年で少しずつ作成していく。他学年は各自見た時点でコメントしていく。コメントの中で随時追加・修正を進める。従来は、出来上がった指導案を検討会議の際に見るため、非常に時間がかかった。このスタイルだと、事前に全員が目を通してしているので、簡単な確認程度で済むため、会議時間も短縮につながった。

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

端末使用を前提とした家庭学習

投稿日 [日付]

・生活科の「自分のせい長をまとめたもの」をお家の人にしようかいしましょう。

・フォームにかんそうを書きましょう。

しゅくだい
Google フォーム

22 提出済み

4 割り当て済み

投稿日 [日付]

0 提出済み

38 割り当て済み

冬休みならではの、学校ではできない経験をたくさんしてください！

冬休みのふり振り返りジャーナルは、家でのごと、でかけたことでもいいです！ニュースや本を読んで感じたことでもいいです！その他なんでも...！

どんな出来事でも、多角的に、多面的に見ることで、学びにつなげて自分なりにまとめて、書いてみましょう。

1,2月に1回、1月に1回を目安に、2回取り組みましょう。

*終業式の日に成長ノートを終わらせていない人は、そちらも忘れずに！

ふり振り返りジャーナル
Google スプレッドシート

[5年]	たしかめ	9. 分数のわり			
[5年]	たしかめ(書き)	16. 正確、解、保、現、次、買、栄、件、過、程、示、延、ゆ、評、働、閉、断、買、報...			
[5年]	れんしゅう	保、状、条、件、程、評、価、判、断、質	全10字	—	34/39名完了
[5年]	たしかめ(書き)	15. 漢字の読み方と使い方 財、祖、眼、謝、罪、志、格、告、永、久、毒、営、妻、精、迷、士	全20問	52%	32/39名完了
[5年]	れんしゅう	財、祖、謝、罪、志、永、久、毒、営、妻、精	全11字	—	34/39名完了
[5年]	たしかめ(読み)	12. 新聞を読もう 13. けい語、14. たずねびと 政、報、解、経、示、逆、比、困、勢、職、歴、史、招、構、迷、夢、在、過、独...	全40問	75%	34/39名完了
[5年]	たしかめ(書き)	14. たずねびと 構、迷、夢、在、過、独、勢、個、捉、寄、余、仏、眼、像、経	全20問	46%	34/39名完了
[5年]		迷、夢、独、個、捉、寄、余、仏、眼	全9字	—	32/39名完了

持ち帰る習慣へ

端末を使用しなければできない家庭学習を出した。各々の教員自作のフォームやスプレッドシート、デジタルドリルを中心に無理のないところから始めた。端末自体の持ち帰りを忘れてしまうこともしばしばあったが、なければできないという困り感から、だんだんと日常的な持ち帰りにもつながった。授業で終わらないところを家庭でやる子も出てきた。

【取組内容②】 インターネット上の動画教材の活用

学習動画としてclassroomにアップ



A screenshot of the Classroom app interface. The top navigation bar shows 'ストリーム' (Stream), '授業' (Class), 'メンバー' (Members), and '採点' (Grading). The main content area is titled '学習動画' (Learning Videos). Below the title, there is a list of video resources. The first item is 'ひし形の面積' (Area of a Rhombus) with a posting date of 2023/12/19. Below it is a thumbnail for a video resource titled '動画資料「ひし形の面積」 Google スライド' (Video Resource 'Area of a Rhombus' Google Slides). A button labeled '資料を表示' (Show Resources) is visible. Below this, two more items are listed: '台形の面積' (Area of a Trapezoid) with a posting date of 2023/12/14, and '三角形の面積' (Area of a Triangle) with a posting date of 2023/12/11.

オンデマンドで学べる

単元に合った学習動画のリンクをスライドに貼り付け、classroomにアップしておく。授業で学習する前や後、いつでも確認できる状態をつくっておいた。自分のタイミングで見ることができるので、授業中はもちろん、家庭学習で活用する子もいた。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

座間市立中原小学校（神奈川県）

【取組内容④】 端末使用を前提とした校内研修会や授業研究会

会議・研修・授業研等で、必ず端末を使用



「本日の学び」・・・教員一人一人のアウトプット

当事者意識の高まり

思考の可視化

職員一人一人の意識の変化

職員が参加する会議においては、一人一人が必ず端末を持参し使用するよう心がけた。授業で児童に使用させる以前に、まず職員自身が端末ありきの活動を体験し慣れる必要性を感じた。こういった使い倒す体験から、職員一人一人が端末の便利さ・利点を少しずつ理解していき、各々の学級の授業でのアイデアにつながっていった。